



脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師

脳卒中センターSCU 丹藤 とも子

私はSCUに勤務しています。緊急入院される脳卒中患者さんに対し、病態をとらえ、症状を悪化させないようなケアを提供するとともに、発症直後から回復促進のため「ワンケア・ワンリハビリ・ワンギフト」をモットーに日々のケアに取り組みしています。突然障害を抱えた患者さんやご家族は不安や苦痛の中にいます。

思いに寄り添い、少しでもできることに目を向け、その人らしさを失わないように関わっています。一つのケアに「リハビリ」と「快」を加えることで、患者さんの心身回復に繋がっていくと考えています。

今後、高齢化が進むにつれ、ますます脳卒中は増えることが予測されます。急性期から回復期、維持期と段階に合わせながら、個々の状態をとらえ今後の生活を見据えた看護の提供が重要となります。急性期での看護を継続し、患者さんとそのご家族が安心して地域に帰れるような体制作りや脳卒中予防に関わっていきたいと思っています。



東日本大震災における当院の取り組み



武蔵野赤十字病院医療救護班



「東日本大震災」発災直後より8月迄に16の当院医療救護班（班構成は、医師・薬剤師・看護師・事務）が被災地で活動しました。また救護班とは別に、石巻赤十字病院に医師・薬剤師・看護師を派遣、更に《心のケア要員》や《介護士》も活動しました。第16救護班からは福島原発事故一時帰宅者への救護とその活動内容は変わりましたが、今後も職員が一丸となり、日本赤十字社等からの要請に直ちにに応えるべく、取り組んで行く方針です。

編集制作：総務課広報係 0422-32-3111

2011年 秋

季刊 情報誌



武蔵野赤十字病院

〒180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
発行 総務課 広報係

アイ
Eyeむさしのは患者さま向けの情報誌です
ご自由にお持ちください



患者さんと接する時間は短いですが、いつも笑顔でお迎えするようにスタッフ一同努めています。
臨床検査センター 係長 吉宇田 朋

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供する
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図る
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進める
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続する
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくる

東日本大震災義援金への感謝



東日本大震災に際して、日本赤十字社は医療救護活動・救護物資の送付・血液製剤の供給・義援金受付など迅速な対応をいたしました。

当院でも3月14日より義援金箱を設置し、平成24年3月31日まで受付期間としております。

8月19日現在で当院に集まった皆様のご厚意のおかげでは総額6,314,929円もの義援金となりました。本当にありがとうございます。このお気持ちは日本赤十字社を通じて、100%被災地にお届けしています。被災地はまだまだ義援金は必要な状態です。引き続きご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



肝炎患診連携拠点病院 肝炎患相談センター

副院長 消化器科部長・肝炎患相談センター長

泉 並木

消化器科副部長・副センター長

板倉 潤

当武蔵野赤十字病院消化器科はこれまで消化管疾患だけでなく、肝炎患診療にも力を入れており、特にB-C型肝炎、肝臓がんの分野では全国屈指の診療成績をあげています。この実績により当院は平成23年4月、東京都から肝炎患診療連携拠点病院の指定を受けました。このことは肝炎患診療の拡充、患者支援を行う大変重要な拠点となる事を目的としており、都内では当院と虎の門病院の2ヶ所のみです。当院では拠点病院事業の一環である肝炎患相談センターを4月に開設致しました。

肝炎患相談センターには医師、看護師、事務員が専任で携わり、主に電話相談を無料で行っています。開設以来4ヶ月で120人を超える相談にお答えしています。セカンドオピニオンや診察ではないため一般的な回答となりますが、相談の際は匿名でも構いません。内容については、検査結果など日常気になることから治療法などの専門的なことまで、幅広く相談を受け付けています。

また相談の他、医療従事者向け研修会や、一般の方を対象とした患者サロン、講演会を開催しています。患者サロンでは肝炎患を患っておられる患者さんやご家族の方が、気軽に意見を交換する場として年に数回院内施設を開放しています。講演会では肝炎、肝臓の最新治療や日常生活の注意点などを専門医に講演して頂いています。講演会開催予定などは、当肝炎患相談センターのホームページに掲載しています。肝炎患の説明や東京都の医療助成制度、お近くの医療機関なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

我々肝炎患相談センタースタッフは、肝炎患を抱えていらっしゃる皆様が生産を楽しく過ごしていただけるよう、誠心誠意サポートさせていただきます。お気軽にご相談下さい。

武蔵野赤十字病院 肝炎患相談センター

電話番号：0422-32-3135（直通）

受付時間：9時30分～16時（土日祭日、5/1、年末年始除く）

相談料等：無料・匿名可

ホームページ <http://kan-kyoten-musashino.jp/>



日本赤十字社は 義援金を100%被災地に お届けしています。

手数料などは、一切いただいておりません。
被災地の自治体へ、順次、速やかに送達しています。



診療科のご紹介

産婦人科



産婦人科部長 梅澤 聡



現在14名の常勤スタッフと2名の非常勤医師で診療にあたっています。

産婦人科、特に周産期と呼ばれる産科、新生児医療の危機が身近な問題として取り上げられている昨今にあつて、当院人員・設備ともに充実した環境を維持し、地域産婦人科医療を支えています。そのため国・東京都・産婦人科各種学会から、がん拠点病院・周産期センター・婦科種適修施設などの専門性の高い施設として認定を受けています。また、それを支えるスタッフの多くが専門医資格を有しており、最新・高度の医療を提供できる体制にあります。

最近の私たちの取り組みを少しご紹介致します。



また「がん」治療に対しても、専門資格を持った医師6名が在籍しており、がん専門病院同様の治療を提供しています。不妊治療は、専門医2名・胚培養士1名で体外受精まで行っており、カウンセリングも含め患者さんにあった不妊治療をおこなっています。

更年期問題は、著名な専門家である前東京医科歯科大学教授、麻生武志先生に担当していただき、女性のライフステージに応じた治療の選択肢を示し、多くの患者さんに安心して治療を受けていただく外米となっています。

これからも、武蔵野赤十字病院の一員として、私たち産婦人科もますます研鑽し、地域のみなさまのために尽力していきたいと思っています。



朝のミーティング